

「医療機関におけるサイバーセキュリティ研修会」を開催しました

去る、令和7年12月20日に、「医療機関におけるサイバーセキュリティ研修会」を、長野市の若里市民文化ホールで開催いたしました。

長野県警サイバー捜査課の方から「サイバー空間の脅威と対策」、SOMPO リスクマネジメント(株)医療・介護コンサルティング部の方から「サイバー攻撃の実態と医療機関に求められる対策」についてご講演いただき、医師をはじめとする多くの医療関係者にご参加いただきました。

今回は、当日実施したアンケートに寄せられた感想の一部をご紹介します。

- ・ランサムウェア被害の実態を知ることができた。職員への研修方法について知りたい。
- ・チェックリストを用いての点検や、サイバー保険の検討が有用だと感じた。
- ・日付の保守、インシデント発生時の対応のシミュレーションを行いたい。
- ・サイバーセキュリティ対策の具体的なところが少し分かった気がする。
- ・パスワードの複雑化や職員教育の必要性を感じた。
- ・講師の人選、講演内容が分かりやすく良かった。
- ・とても勉強になるので毎年行って欲しい。
- ・ランサムウェアが送られてきたら、どのように対処すべきなのか知りたい。
- ・サイバーセキュリティは組織で考えなければならないと感じた。
- ・ファイルデータの定期的なバックアップとネットワーク外での保管等サイバー攻撃への備えが重要だと感じた。
- ・実際に発生した事例に対する解説や分析が聞きたい。

長野県医師会では、医療機関に対するサイバー攻撃やそれに伴う情報漏洩に因る損害に備えるサイバー保険を取り扱っております。詳しくは「長野県医師会団体契約による保険商品のご案内」ページ (<https://www.nagano.med.or.jp/doctor/dl/dantai.php>) をご覧ください。